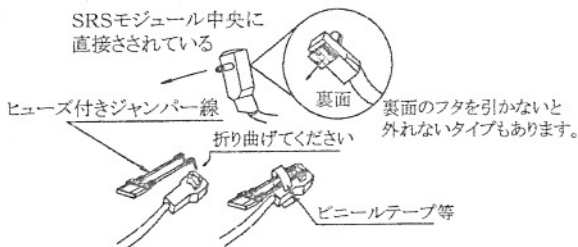
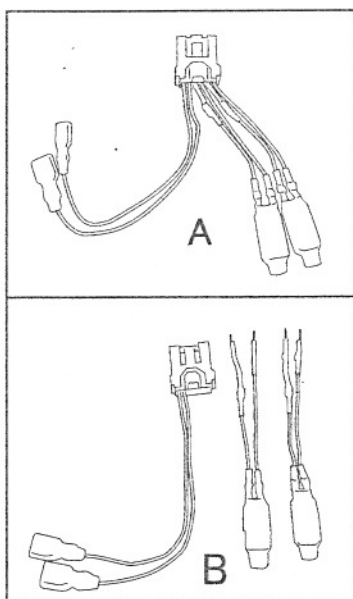


# 920 配線説明書

- ・エアバックを取り外し、下記作業を行えば警告灯を消灯させることができます。  
但し、お車の電流特性により、正確に配線されていても警告灯が点灯・点滅（時間が経ってからも含む）してしまう場合がございます。ディーラー等で診断器をかけると消灯出来る場合もあります。ご了承下さい。  
注：SRS 警告等の消灯を保障しているものではありません。
- ・エアバックを再搭載される場合は必ずディーラーで行ってください。
- ・取り外し作業は手順を誤るとエアバックが作動し大変危険です。  
専門店、又はディーラーにお任せ下さい。お客さまご自身による作業で事故が発生した場合、弊社では責任を負えません。ご了承下さい。

## 作業手順

1. 前輪を直進状態にしてから、バッテリー端子を外して5分以上放置する。
2. 純正ステアリングホイールの裏又は側面にあるネジを外す。
3. エアバックモジュール（本体）を取り除く。このとき接続されているコネクタを抜く。
4. ステアリングに接続されている各コネクタを抜く。
5. センターナットを緩めてステアリングを外す。  
（ステアリング・プーラーを用いる事をお勧めします。）
6. ボスのトップマーク（▲）を真上にしてステアリングシャフトに差し込む。  
このとき、スパイラスケールは純正ステアリングを外した状態から、絶対に回転させないこと。
7. ホーンハーネスと SRS 配線が一体式コネクタの場合は A を使用し、別体式の場合は B を使用する。B の場合はエアバックに接続されていたコネクタに付属のフューズ付ジャンパー線を差し込み、（極性無し）抜けないようにコードに沿わせてテープ等で固定する。  
（注）二段式エアバックの場合には2セットとも、これを行う。
8. ホーン配線は、ボス側面からコード穴を通してボス内部に引き込む。
9. エアバック配線はボスの周りに巻き付けテープ類で固定する。
10. ボスカバーをかぶせる。下部がクロックスプリング凸部に当たってしまう場合は、カバーを变形させるか、カッター等で干渉部分を切り取る。
11. ステアリングホイールを取付け、センターナットを締める。トルクは  $30\text{ N}\cdot\text{m}$  ( $3\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )。
12. ホーンの配線を接続してホーンボタンを装着する。



※フューズ付ジャンパー線は、接触不良が無いように確実に固定してください。また、折り曲げは1回までにしてください。それ以上繰り返しますと、破断してしまいます。  
必要であればビニールテープ等を用いて、接触不良等を防いでください。